

The 14th Japan Trail Orienteering Championships TempO

Protests and Decisions

第 14 回全日本トレイル・オリエンテーリング選手権大会 TempO 提訴と裁定

Protests / 提訴

伴 毅

(1) A2-Task4

D フラッグのついている岩がけは、いくら形が特徴的であるとはいえ高さが低すぎて本来採用されるべきではなく、逆に相対的に高いCフラッグのついている岩がけは採用されていない。競技者は与えられた地図を基に地形を読むものであり、上記の状況は競技を不公正にしていると考える。

(2) A5-task3

現地では確かに岩がけはFフラッグの地点で終わっているが、Fフラッグより下の部分もDPからの見た目から岩がけでないとは明確に認識できるものではない。地図上でこの岩がけが等高線3本を切断していて、がけの下には道まで1本の等高線もない。つまり、地図上は高さ4~6mの岩がけが道の高さまで存在しているという表記になっている。競技者は与えられた地図を基に地形を読むものであり、上記の状況は競技を著しく不公正にしていると考える。

Decisions / 裁定

July/裁定委員 Kiyoshi Ito / Kwon Oh-Sam / Toru Tanaka

April 28, 2019

(1) A2-Task4

Dフラッグの横長の岩がけは2段になっていて、合わせると1m程度になる。一方、Cフラッグの岩がけは、Dフラッグの岩がけより高さはあるかもしれないが幅が小さく、地図に描かれない可能性がある。以上から、競技の公正さの許容範囲内であり、この課題を無効とする必要性までは認められない。

(2) A5-Task3

等高線の切断は2本である。この場合、高さ2~6mの可能性はあるが、現地の高さ：約3mと符合する。岩がけのヒゲの最小寸法は0.75mmで、実寸3mになり、岩がけから橋までの距離とも符合する。以上のように、地図の表記は適切であり、競技の公正さを損なうものではない。